

6月になると学校や幼稚園、保育園でもプール開きがあります。それと同時に「プール熱」という病名も聞かれるようになります。プール熱は夏風邪症候群の1つで正式には『咽頭結膜熱』といいます。ここで、プール熱の特徴をお伝えします。



原因 アデノウイルスの感染

感染 プールの水、くしゃみ、手から手、便を介してなど

症状 39～40℃の高熱、
結膜炎（充血、目やに、涙）、
咽頭炎、頭痛、腹痛、赤ちゃんの下痢・嘔吐

手当 対処療法として、目の症状には目薬、目やにはティッシュでふき取り捨てる。
イオン飲料などでの脱水の防止。
のどの痛みが強い時にはプリン・ゼリー・アイスクリームなどの喉越しの良いもの、その後おかゆ・そうめんなど。



感染したら涼しい場所でゆっくり体を休めます。子供だけでなく看病している大人にもうつることがあるので気を付けましょう。

完全な予防はなかなか難しいですが、家族に感染者が出たらタオルは別にする、手洗いをよくするが基本です。潜伏期間は5～6日で、症状が治まってもしばらくウイルスが排出されます。登園・登校は医師の許可が出てからにしてください。